

## 平成23年度第1回千葉県地域リハビリテーション協議会 開催結果概要

- 1 日 時 平成23年12月21日（火）午後1時30分から午後3時00分まで
- 2 場 所 ホテルプラザ菜の花 4階会議室 榎
- 3 出席委員（総数16名中13名出席）  
荒井委員、石山委員、宇野委員、小坂委員、田那村委員、西委員、平山委員  
栗原委員、茂木委員、鎗田委員、吉井委員、吉田委員、吉永委員

### 4 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 議 題
  - ① 市原広域支援センターの指定について
  - ② 千葉県リハビリテーション支援センター及び地域リハビリテーション広域支援センターの活動予定について
  - ③ 地域リハビリテーション広域支援センターからの活動報告
- (3) 報 告
  - ④ 地域リハビリテーション調整者養成研修の開催について
  - ⑤ 千葉県脳卒中リハビリテーション支援体制推進事業について
  - ⑥ 地域医療再生事業について
- (4) 閉 会

### 5 会議結果概要

#### 議 事

- ① 市原広域支援センターの指定について  
・白金整形外科病院を指定することに決定し、指定期間は平成24年4月1日からとする。
- ② 千葉県リハビリテーション支援センター及び地域リハビリテーション広域支援センターの活動予定について  
・事務局から資料に基づき各センターの事業実施状況、事業予定について報告した。
- ③ 地域リハビリテーション広域支援センターからの活動報告  
・資料に基づき東葛北部広域支援センター（旭神経内科リハビリテーション病院）及び山武・長生・夷隅広域支援センター（公立長生病院）が活動状況を報告した。

#### 報 告

- ④ 地域リハビリテーション調整者養成研修の開催について  
・事務局から資料に基づき報告した。
- ⑤ 千葉県脳卒中リハビリテーション支援体制推進事業について

・事務局から資料に基づき報告した。

⑥ 地域医療再生事業について

・事務局から資料に基づき報告した。

6 議事概要

(吉永会長)

当協議会の会長を仰せつかっている千葉リハビリテーションセンターの吉永です。今日は暮れのお忙しい中お集まりいただきまして有り難うございます。

今年度第1回の地域リハビリテーション協議会ですが先ほど話がありましたが広域支援センターの指定と言う重要な議事もありますので活発な意見の交換をお願いいたします。

①市原広域支援センターの指定について

(事務局)

資料1-1、資料1-2、資料1-3及び資料1-4により説明を行う。

(吉永会長)

今説明がありましたが、千葉労災病院につきましては過去8年間、市原地区の広域支援センターとして積極的な立場でこの事業に関わってもらってきたが、今回病院の方の状況が変わり指定を受けられなくなったという話が県にあり残念ながらこの議題を扱うようになった。

御承知のように千葉県には9つの広域支援センターがあり平成10年半ばから随時県が指定しているが、今回の様な事態は初めてである。この協議会でこのような議論をするのは久々であるが、今の説明の中で2つの病院に絞られるということなので、どちらかにしなければならぬので議論をしなければなりませんので宜しくお願いいたします。

それでは、資料の1-4に意向調査の結果があり、議論のたたき台になると思うがこれに基づきまして或いはその他の観点からでも結構ですので委員の方から広域支援センターの指定についての意見をいただきたい。

(委員)

私どもは東葛南部の広域支援センターですが、この活動にはかなりマンパワーや時間をかけても中々浸透していかない。受けるとかなりの負担を強いられ、それなりにリハビリ等のマンパワーがある病院でないと出来ないと思うし、回復期リハ病棟もある等の観点からすると白金整形外科病院のほうがよいのではと思います

(吉永会長)

他に御意見はありますか。

荒井委員から数に基づくものとして、リハビリテーションに従事する職員数が多い方がよろしいのではないかとその意見があったがその辺に関していかがですか。

他に特に反対意見がなく微妙ですが、今のポイントが重要かなと私も思います。

それでは、荒井委員の意見に対して特に意見がありませんので、まず2年間の任期中で指定をさせていただき、その活動内容を2年後に判断するというので、今回につきましては白金整形外科病院を指定することを承認されたこととさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(各委員)

拍手

(吉永会長)

異議がないということで、この協議会では白金整形外科病院を指定することに決めさせていただきます。

なお、指定期間につきましては現在の指定期間の満了後ということですので、次回協議会で指定することになります。

現在は千葉労災病院が2年の任期中途中で辞退されたということで、指定期間は平成24年4月1日から2年間ということです。

そうしますと、それまでの間は空白となりますか。あるいはこの段階で白金整形外科病院に受けていただき残りの任期をやっていただくことですか。

(事務局)

一応今年度の状況から年度途中から直ぐにやってもらうことは難しいと思っております、事務局としましては来年の4月1日から2年間で一部期間が残っていますが、切り替えは4月1日からということで承認頂ければと思います。

(吉永会長)

両病院にはそのように話をしているということでよろしいですか。

今の説明のとおり指定期間は平成24年4月1日からということで理解いただきたいと思います。

## ②千葉県リハビリテーション支援センター及び地域リハビリテーション広域支援センターの活動予定について

資料2により事務局から説明

## ③地域リハビリテーション広域支援センターからの活動報告

### I. 東葛北部広域支援センター

資料3-1により旭神経内科リハビリテーション病院の旭病院長さんから説明

### II. 山武・長生・夷隅広域支援センター

資料3-2により公立長生病院の高橋さんから説明

## その他

(委員)

在宅リハビリはどのくらい進んでいるのか。

(吉永会長)

訪問リハビリテーションのことでしょうか。

御承知のように現在は、病院から出る訪問リハか訪問看護ステーションから出る形しかない。国に方でも色々進めているようだが、千葉県内の実績についての資料が事務局にありますか

(事務局)

直ぐ出せる資料はありません。

(委員)

千葉労災は半年間やってなく、実績が全然ないため白紙できたということだが、予算面ではどうなっているか。

(事務局)

今年度予算的には、9医療圏全部を当初予算で組んでいるが御案内のように今年度の予算を執行する段階で辞退したいという申し出をいただきましたので、事実上予算は執行していません。一応、両病院については今年度からとの打診はしましたが、年度の途中から直ぐやることは中々きついと言うお話があったことから、予算については補正で今後減額すると言う形になるかと思えます。

途中で辞退と言うことは今までに無かったものです。

(委員)

これは報告として問題ないか。

(事務局)

もともとこの事業を県からの事業委託が無いもので、このまま白紙で出すことの是非はあると思いますが、今日は9圏域の状況と言う形の中で敢えてお出ししました。

(委員)

じゃあそのままだ。

(吉永会長)

この件については、課の方でも検討頂ければということで、22年度は事業を実施して、今年度分がブランクということですか。

(事務局)

その通りです。今年度分がブランクです。

(吉永会長)

平山委員の今の御質問は非常に重要で今後の事業計画に必要ですが、今、介護保険を介する形と医療を提供する形があるが、オブザーバーで参加している介護保険の担当課と医療整備課で何かその辺を把握されていればお答えください。県としてもこう言った情報を見ていくことが非常に重要だと思うので、出来れば部の方で何処で見ていくかの議論をしていただき、直ぐ資料が出来る体制が必要となってくると思う。

今度24年度に医療保険と介護保険の同時改定でその辺は議論されてきておりますので、是非県の方も注目していただきたいと提言させていただきます。

(吉永会長)

それでは議題の方は終了させていただき、報告事項が3件あるということで事務局から報告して下さい。

④調整者養成研修について

資料4により事務局から説明

⑤千葉県脳卒中リハビリテーション支援体制推進事業の平成23年度の実施状況等について

資料5により事務局から説明

⑥地域医療再生事業について

資料6-1及び6-2により事務局から説明

(吉永会長)

資料4から6にかけて中々内容の深い問題も含んでいる報告でありましたが、御質問ありますでしょうか。

(委員)

先ほどに広域支援センターの活動について地域格差がとてもあると思いました。

松戸の病院の報告を聞いて1つ1つのセンター病院が地域の分析から地域住民を巻き込んだ研修、松戸市はボランティア活動の実績はあるので出来ると思うが他のところがそのように出来るか。献身的な活動をしているからいらしていると思うが、研修会も中々難しいところのありまますので、最低限どのようにやるかその病院に全ておんぶにだっこではなく一定の目安というか、ここであるかどうか分からないが定めた方がOT、STさん等の負担が軽減されると思う。

千葉県は都市部から農村部などの沢山の地域があるので、その地域特性に合わせてどのようなリハビリテーションを普及するかの方向性は県の方が出された方が良いのかと思いました。

(吉永会長)

御意見は伺って事務局の方で検討したいと思いますが、地域格差が色々あるということと、県で指定をしている病院のスタッフもマンパワーもだいぶ違う中で非常に限られた全国的にも少ない予算の中で広域支援センターが努力されているのが実情で、その中でそのような指針を出された方がやり易ければ、その方法があると思うが、また逆に努力目標を達成しましょうという方法もあると思いますが、その辺はどうでしょうか。

(事務局)

おっしゃる通りだと思います。非常に少ない予算の中で広域支援センターには色々御努力頂いているところでありますが、広域支援センターを委託する場合ある程度

の指針というか、例えば地域の中でコーディネーター的な役割をしていただいて各地域と繋がれるような顔の見える関係を築いていただきたいなど、幾つか指針と言いますか抽象的なことはありますが、具体的に研修を何回ぐらいやってほしいということまでは私のほうからは、予算が少ないことからある程度病院でできる範囲でやっていただいているのが実情です。

あまり細かく決めるのは足かせになるかもしれませんし、また、定額的な毎年の委託契約ということで恐らく頑張られている病院は足を出されながら日頃の診療を行いながら地域のために頑張られて頂いているのが実情で、今後のその進め方については吉永センター長さんと相談しながら考えていきたいと思えます。

(委員)

かいつまんで、この地域はこのような年齢層だとか世帯層があって、その為にこの地域はどんなニーズがあるのかなどの分析は、病院でやることは中々出来ないと思うので、それを含めて提示して上げることがやり易くなるのかと思う。

(事務局)

その点は逆に県でないと思っていないと思えますので、そう言うところの情報提供は今後是非機会を作ってやらせていただきたいと思います。

(吉永会長)

私どもで行なっている担当者会議もありますし、また議会協議会は会によっては各センターさんもお呼びしているのでまた考えたいと思えます。

(委員)

地域リハについては県内で様々な事業を行っており、重複しているものもある。訪問リハに対しては支援がないのが現状、県ではなく国でやっている指針、国に訪問リハの全体の会があるようなので、うまく情報を流して頂けるともうちょっとスムーズに行くという気がします。

訪問リハに限らず地域リハに関する県の流れや取りまとめなどの情報発信だけでもしていただければ非常にありがたいと思えます。

(吉永会長)

追加で意見を言わせて頂くが、この事業自体は変わっていないが、認知症にしても脳卒中にしてもいろいろな課が担当していてかなりの予算を持っていて、せっかく県がやっていることだしこの事業は昔から言っているが非常に重要な事業だし高齢化者社会に向かって可なり重要な事業と思っているのでそういった情報を連携した色々な形を県から発信してもらいたいと思っていますので、是非検討願いたい。

(東葛北部広域支援センター長)

今色々な施策が国から下りてきているが、私どもはこの会と他にも高次機能の会や認知症の会などに関わっているが、現場主義というか実際にその家族の会の方が困っている現場の話を長年聞いてきたことが、今後の取り組みの良ききっかけになっている。この会は残念ながら脳卒中友の会などの人の声を直接反映するような委員が入ってないので、現場のことが分かりにくいと思う。

声を全部吸い上げて全部やるのは不可能だがその中から何が出来るかを考えていくことで方向性が間違わずに行けると思う。

国の批判をするわけではないが、国の方で霞が関で考えたことは現実的に合わないことが沢山あるので千葉県独自の現場でどのような事がリハビリで困っていることが分かって、それに対して皆さんがどのようにやるかのきっかけになると一つの手順が見えてくると思い提案した。

(事務局)

以上で平成23年度第1回地域リハビリテーション協議会を終了いたします。

本日はありがとうございました。